

当院へのアクセス



無料送迎バスのご案内

近鉄バス(富田林駅方面)

- 来院時 「富田林駅前」・「PL本庁前」・「PL病院南」乗車 → 「PL病院正面玄関前」降車
- 帰院時 「PL病院正面玄関前」乗車 → 「PL病院南」・「PL本庁前」・「富田林駅前」降車

南海バス(金剛駅方面)

- 来院時 各バス停乗車 → 「PL病院」降車
- 帰院時 「PL病院」乗車 → 各バス停降車

巡回バス

- さつき野・桜井町 方面 清水町・川西・美山台 方面
- 太子町・川面町 方面 錦ヶ丘・楠風台・楠町 方面
- 青南台・大阪狭山市 方面 河南町・甲田・錦ヶ丘 方面

※詳細はホームページをご覧ください。



＜PL病院
ホームページ
PL病院 検索



Instagram



フェイスブック

ともろー 第116号 秋号

●2025年10月21日発行(1.4.7.10月 季刊発行) ●発行:医療法人宝生会PL病院 ●編集:同院 総務部総務課 ●〒584-8585 大阪府富田林市新堂2204
●TEL:0721-24-3100/FAX:0721-25-9405 ●Eメール: info@plhospital.or.jp ●ホームページ:https://www.plhospital.or.jp

ともろー

Tomorrow

2025
秋号

第116号

- 1-2 下肢静脈瘤について
- 3-4 乳腺外科について
- 5-6 絵画コンクール
- 7 リハビリテーション科
創設50周年を迎えて
- 8-10 実習生の受け入れ
- 11 学会発表だより
- 12 登録医紹介
- 13 すこやかコーナー
- 14 トピックス/クイズ



第29回 小学生絵画コンクールともろー賞(最優秀賞)

つじした あつひろ
羽曳野市立高鷲小学校3年 辻下 温大さん

人生は芸術である 医療もまた芸術である

下肢静脈瘤のレーザー治療

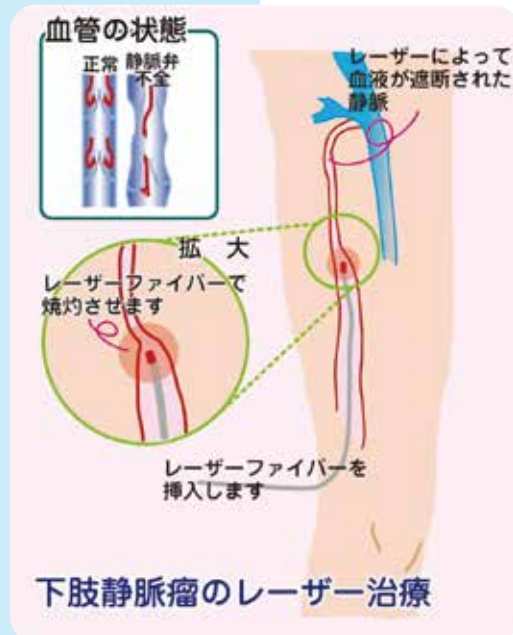
放射線科部長・IVRセンター長 ニノ井 照久(にのい てるひさ)

皆さん、初めまして。IVRセンター長のニノ井と申します。大阪市立大学(現：大阪公立大学)でIVRを学び、これまで25年以上IVRに携わって多くの患者さまの治療を担当させていただきました。IVR治療としては肝癌などの腫瘍塞栓術、出血に対する緊急止血術、下肢静脈瘤レーザー治療などがあります。

今回は下肢静脈瘤のレーザー治療について紹介いたします。

下肢静脈瘤とは

静脈弁不全により血液が足に逆流し、静脈がコブのように拡張する病気です。



《主な症状》

- 足がつる
- 足がむくむ
- 足が疲れやすい
- 足にコブがある 等

さらに悪化すると足が痛くなったり、黒くなったりします。

下肢静脈瘤の治療

約1mmの針穴にレーザーファイバーを挿入し、逆流している静脈を焼灼させて血流を正常化させます。当院のIVRセンターでは下肢静脈瘤治療用の血管内レーザー装置として保険認可を受けたLeonardo Bonsal1470を導入し、レーザー治療をおこなっています。下肢静脈瘤レーザー治療が保険認可を受けた当初からこれまで750例以上の治療をおこなっています。

- 最新レーザー装置なので術後の痛みや皮下出血などの合併症が少ない
- スリムファイバーを使用しているので手術部位の傷跡が目立ちにくい
- 1泊2日の短期入院での手術が可能



症状が少しでも
当てはまる方は
外科外来を受診してね!



IVRセンター

IVRとは『レントゲン(エックス線透視)』などの画像をみながら病気の状態を細部まで正確に診断したうえで、カテーテルという細い管や針を操作して病気を治す体にやさしい治療法』のことです。一般的にお腹を切って開けたりするような手術を必要としないので、体への負担が少なく高齢者でも安心してうけることができる治療法とされています。

当院は、IVR専門医修練認定施設に指定されており、主にIVR専門医やその疾患を専門にした熟練した医師が治療をおこなっています。



乳がんとは？ 定期的な検診が健康を守ります

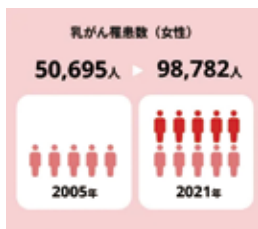
乳がんとは

乳がんは、乳房の乳腺という場所にできる悪性の腫瘍で、非常に身近ながんの一つです。発症のリスクは30代から上がり、40代から60代にかけて特に多く見られます。乳がんは、初期の段階では痛みなどの自覚症状がほとんどなく、知らないうちに進行してしまうことがあります。しかし、早期に発見して治療を開始すれば治る可能性が高い病気です。

乳がんは女性が患うがんの中で最も多いがん

2021年のデータでは、生涯に乳がんを患う女性は9人に1人と推定されています。図1は乳がん罹患数（新たに乳がんになった人の数）のデータになります。最新の2023年のデータでは、乳がんは女性全体の部位別がん死亡数で4位になりますが、年代別に見ると30歳から64歳まででは1位になります。（図2）

参考資料：公益財団法人日本対がん協会サイト
(<https://www.jcancer.jp/>)



● 図1

	部位	人数
1位	大腸	25,195人
2位	肺	22,854人
3位	膵臓	20,316人
4位	乳房	15,629人
5位	胃	13,446人

2023年 部位別がん死亡数（女性）

● 図2

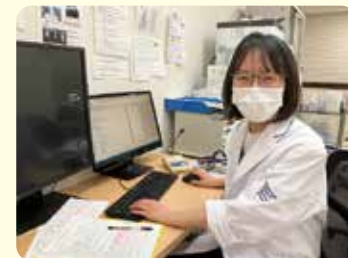
早期発見のための検診

乳がんの罹患率が増加する40歳から、2年に1度定期的にマンモグラフィー検査を受診することがすすめられています。各市町村より検診の案内が届きますので、ぜひ活用してみましょう。また、検診を受ける場合には同じ施設で受けることで前回との比較ができ、比較することでがんの発見につながることもあるので行きやすい施設を選ぶことが重要かもしれません。



活躍する女性医師たち

はじめまして。乳腺外科の西本舞と申します。これまで乳腺専門医として大阪市内の病院を中心に乳がん診療に携わってまいりました。患者さん一人ひとりの思いに寄り添い、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。地域の皆さまのお役に立てるよう尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



西本 舞先生



西川 真理子先生

はじめまして。乳腺外科の西川真理子と申します。2019年より乳がん治療に携わらせていただき、2023年より大阪公立大学病院乳腺外科で勤務しております。2024年より当院の乳腺外科外来にて勤務することになりました。女性に寄り添った丁寧な診察を心がけていきます。

はじめまして。乳腺外科の御勢文子と申します。2025年からPL病院、大阪公立大学医学部附属病院 乳腺外科に勤務しております。不安なことや気になる症状についてわかりやすく丁寧に説明し、安心して話しやすい診察を大切にしています。どんな些細なことでも、遠慮なくご相談ください。



御勢 文子先生

● 乳腺外来

	月	火	水	木	金	土
午前						○
午後	○	○		○		

月・火・木曜日午後の乳腺外来は女性医師が担当しており、予約なしで受診が可能です。

たくさんのご応募
ありがとうございました

第29回 小学生絵画コンクール

今年も『夏のおもいで』をテーマに小学生絵画コンクールを開催いたしました。このコンクールは子どもたちが健やかで心豊かな成長を遂げるとの願いのもと開催しているもので、29回目を迎えます。今年40校、1037点の応募をいただきました。厳正なる審査の結果、下記のみなさまの入賞が決まりました。10月1日から11月28日12時まで、入賞作品は当院外来、ハッピーサマー賞は高層棟1階で展示いたします。なお、全作品をデータ化し、1階・2階に設置しています検温システム（デジタルサイネージ）に表示します。毎年、一生懸命描いた作品を応募してくださる近隣小学校の児童のみなさま、又先生方に心より感謝申し上げます。



優秀賞 森下 うたさん



優秀賞 楠瀬 晴紀さん

とっとり賞（最優秀賞）		
辻下 温大 さん	羽曳野市立高鷲小学校	3年
優秀賞		
森下 うた さん	富田林市立富田林小学校	6年
楠瀬 晴紀 さん	富田林市立藤沢台小学校	5年
入選		
川口 凜 さん	富田林市立錦郡小学校	2年
辻下 穂実 さん	羽曳野市立高鷲小学校	5年
佳作		
久保 春瀬 さん	富田林市立藤沢台小学校	6年

佳作		
名倉 優 さん	富田林市立向陽台小学校	4年
田村 芽生 さん	大阪狭山市立第七小学校	3年
片山 太輔 さん	富田林市立寺池台小学校	2年
岡本 彩希 さん	大阪狭山市立南第二小学校	1年
ハッピーサマー賞		
綾部 伶 さん	大阪狭山市立第七小学校	1年
池本 悠里奈 さん	富田林市立小金台小学校	1年
河本 築 さん	羽曳野市立塙生南小学校	1年
西枝 佳奈恵 さん	堺市立美原北小学校	1年
山口 珠莉 さん	富田林市立高辺台小学校	2年

今年度も『夏のおもいで』をテーマに、たくさん作品が集まりました。審査の結果、羽曳野市立高鷲小学校3年生の辻下温大さんの作品『つれた!にじいろ☆のおもいで』が、最優秀賞の「とっとり賞」に選ばれました。この作品には、たくさん夏休みの楽しかった思い出が描かれています。川の水面にはたくさんの思い出が描かれていて、どの思い出もとても楽しそうに描かれています。画面の中央には、魚を釣る人物と大きな虹色の魚が描かれています。魚を釣ったときの驚きや喜びが鑑賞者に伝わるように、釣った魚が水中から飛び出る勢いや、人物の表情を上手に表現しています。中央に描かれた魚は、光に当たって色とりどりに輝いている様子を表現するために、たくさん色を使用しています。作品の観る角度を変えると、銀色の絵の具で着色した魚の体やしっぽの部分が輝き、まるで画面から飛び出してくるような感覚になります。たくさん思い出を組み合わせて、素敵な感性で色彩感覚豊かに表現することができています。作品でした。その他にも優秀賞2点、入選2点、佳作5点、ハッピーサマー賞15点、合計25点の作品が選ばれました。今年度は大阪・関西万博が開催され、万博に行った思い出や花火大会、自然体験とたくさん楽しい思い出が作品から伝わってきました。来年度もまた、このコンクールで皆さんのたくさん思い出と作品に出会えることを楽しみにしています。

堺市立鳳中学校 美術科 中出 知沙



入選 川口 凜さん



入選 辻下 穂実さん

ハッピーサマー賞					
射手矢 晴晃 さん	富田林市立高辺台小学校	2年	藪内 琴心 さん	河内長野市立三日月小学校	4年
瀬戸 渚 さん	河内長野市立長野小学校	3年	福島 花 さん	堺市立平尾小学校	4年
中谷 有杏 さん	河内長野市立高向小学校	3年	山口 瑛 さん	富田林市立高辺台小学校	5年
黒川 岳玖 さん	藤井寺市立道明寺小学校	3年	芝池 風音 さん	藤井寺市立道明寺小学校	5年
安河内 果澄 さん	大阪狭山市立第七小学校	3年	圓藤 新奈 さん	私立PL学園小学校	6年

[審査員]	
大阪彫刻家会議員／元大阪教育大学講師	中本 岩雄 氏
堺市立鳳中学校美術科教諭	中出 知沙 氏

リハビリテーション科 創設50周年を迎えて

今年、当院リハビリテーション科は創設50周年という大きな節目を迎えました。

昭和50年(1975年)、まだ「リハビリテーション医療」が一般に広く知られていなかった時代に、当院ではいち早く専門部門を立ち上げ、地域に根ざしたリハビリ医療の提供を始めました。

この50年間、リハビリテーション科を支えてくださった全ての患者さま、ご家族の皆さま、地域の医療関係者の方々に心より感謝申し上げます。そしてこれからも、患者さま一人ひとりの「その人らしい生活」の実現を目指し、スタッフ一同研鑽を重ねてまいります。

リハビリテーション科の主な沿革

- 1956年 ● ■ PL病院 開設
- 1975年 ● ■ 理学診療科 創設
- 2006年 ● ■ 理学療法部門 設立
- 2014年 ● ■ 病院開設50周年 新病院へ移転 作業療法部門 設立
- 2025年 ● ■ 言語聴覚療法部門 設立
- ■ リハビリテーション科 創立50周年



当院リハビリテーション科の対象疾患例

分類	対象疾患例
運動器リハビリテーション	変形性関節症、骨折等運動器疾患
脳血管疾患リハビリテーション	脳梗塞、末梢神経障害等
廃用症候群リハビリテーション	安静や長期の臥床によって生じる身体機能の低下
呼吸器リハビリテーション	誤嚥性肺炎、慢性呼吸器疾患等
心大血管リハビリテーション	慢性心不全等
がんのリハビリテーション	血液がん、消化器がん等

当院は実習生を受け入れています

当院は、未来の医療を担う学生たちを応援しています。実際の現場で学ぶ経験は、医療人としての第一歩を踏み出す大切な機会です。当院では、地域貢献の一環として、教育機関と連携し、年間を通してさまざまな学生実習を受け入れています。

今回ご紹介するリハビリテーション科、歯科、薬局のほか、栄養科や看護部、事務部門でも実習の受け入れをおこなっております。

リハビリテーション科の臨床見学実習

※「」内は実習生のコメント

今回の実習で学んだこと

「今回は見学中心の実習でしたが、リハビリスタッフの方々がどのように患者さまに接し、どのようにコミュニケーションをとっているのかを間近で見ることができました。人との関わり方を学ぶ良い機会になりました。」

実習を振り返って

「5日間という短い期間でしたが、自分にとってはとても大きな経験でした。今後の実習ではより実践的な内容が増えていくと思うので、今回学んだ“コミュニケーションの大切さ”を忘れずに活かしていきたいです。」



歯科の臨床実習

現場で学ぶリアルな歯科

実習内容は医師の診療補助、歯科衛生士のアシスタント、器具の準備・運搬など多岐にわたります。

同じ患者さまと関われたからこそ学び

「前回と違い、歯科だけで6週間の実習だったため、何度も同じ患者さまと関わることもありました。そのおかげで業務の流れもつかみやすかったです。」

また、当院では高齢の患者さまも多く、「もっとスピーディに動けたらよかった」と、反省の声も聞かれました。



そのほかにも

「学校の授業で学んだことが実際の現場で体験できて自信につながりました」

「多職種連携の大切さ、コミュニケーションの重要性を学びました」

との感想をいただきました。



薬局の薬学実務実習

現在、当院の薬剤部で実習中の薬科大学5年生のお二人に、実習開始からおよそ1か月を経た時点での感想を伺いました。これまで調剤薬局での実習しか経験がなかったというお二人にとって、病院という医療の最前線で学ぶ日々は、新鮮な発見の連続となっているようです。

多職種連携を現場で体感

「病院実習は今回が初めてで、最初は少し緊張していました。調剤薬局とは違い、病院の薬剤部は広くて、さまざまな診療科があり、薬剤師が多職種の方々と連携している様子を間近で見ることができ新鮮な気持ちで実習に取り組んでいます。」



服薬指導の経験も

ある整形外科の70代の入院患者さまを担当した場面では、患者さまの協力もあり、スムーズな対応ができたとのこと。

「学生の私に丁寧に接してくださり、とてもありがたかったです。きちんと話を聞いてくださって、安心して服薬指導に臨めました。」一方で、病院に来院される患者さまは体調が優れないことも多く、声のかけ方やタイミングに迷うこともあったようです。

「調剤薬局では元気な方が多かったのですが、病院ではまた違った難しさを感じています。患者さまの状態に合わせて接する大切さを、改めて実感しました。」

「薬剤師を志した理由は、薬の正しい知識を使って、患者さまに安心感を持ってもらいたいと考えたからです。また、患者さまとの信頼関係を築きながら専門性を高め、常に学び続ける姿勢を大切にしたいと思います。」

「病院で働く薬剤師は、最初は業務量が多くピリピリしているというイメージがありましたが、実際は和気あいあいとしていて、親身に対応してくれる方が多く、知識も豊富だと感じました。」



学生さんの言葉からは、初めての实習で得た学びや、患者さまとの出会いの一つひとつが、将来の医療人としての土台になっていることが伝わってきました。

**実習生のみなさん、
夢に向かって頑張ってください!!**

学会発表だより

第208回近畿外科学会

2025年3月1日(土)／大阪市

外科 医師／斉藤 健

- Conversion手術を施行したVirchowおよび傍大動脈リンパ節転移陽性胃癌の一例

第70回日本透析医学会学術集会・総会

2025年6月27日(金)／大阪市

臨床工学士室 臨床工学士／児玉 健一郎

- 透析装置の洗浄消毒 いままでとこれから

第87回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会

2025年6月27日(金)／奈良市

耳鼻咽喉科 医師／高野 さくらこ

- 上顎洞、前頭洞に発生した副鼻腔真菌症の一例

第14回PVP・MIST研究会学術集会

2025年7月12日(土)／東京都

泌尿器科 医師／青山 真人

- 一般演題“PVP後11年間の新規悪性腫瘍の罹患状況”
- シンポジウム“高齢者のBPHに対するWAVEの有用性”

第26回固定チームナースング近畿地方会

2025年7月12日(土)／滋賀県

外来 看護師／水田 佳代

- 認知症高齢者の外来通院における自立支援～多職種連携による継続した看護の提供～

第80回日本消化器外科学会総会

2025年7月17日(木)／神戸市

外科 医師／遠藤 秀生

- Panitumumabによる術前化学療法が有効であった後腹膜浸潤下行結腸癌の一例

日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会

2025年7月19日(土)／京都市

認定看護師室 看護師／深川 喜久子

- 膀胱癌術後補助化学療法にて重症筋無力症を発症し、重度嚥下障害を呈したが経口摂取可能となった一事例

日本栄養治療学会近畿支部 第17回支部学術集会

2025年7月19日(土)／京都市

薬局 薬剤師／飯野 倫子

- 肝不全用アミノ酸輸液長期投与時、増量を契機に高クロール性アシドーシスの診断に至った一症例

日本消化器病学会近畿支部第123回例会

2025年9月13日(土)／京都市

臨床研修センター 医師／酒井 美穂

- 胆嚢炎、胆管炎から化膿性門脈炎を生じた一例

登録医紹介

Registration Doctor No. 3044

はく内科クリニック

診療科目／内科・循環器内科



はく りょう
院長 白 亮 先生



PL病院には長くお世話になりましたが、2022年11月に独立しました。小学生以上に対応しております。ちょっとした健康相談的な内容でも構いませんので、何なりとお声掛け頂ければと思います。

	受付時間	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
診療時間	8:50-11:50	9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	×	×
	15:50-18:50	16:00-19:00	○	○	×	○	○	×	×	×

休診日

水曜午後、土曜午後、日曜、祝日
月・木・金の12時～16時は美容のみの診察

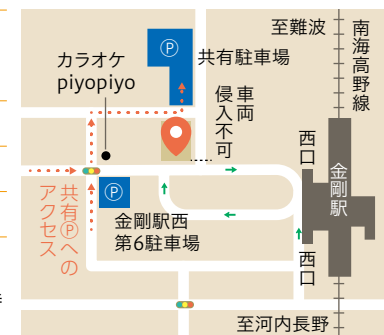
住宅往診

している

可能な
検査など

血液検査、尿検査、レントゲン検査(胸部、腹部)、超音波検査(心臓、頸動脈、下肢血管)、心電図検査、ホルター心電図、骨密度検査、睡眠時無呼吸症候群、ABI(上下肢血圧比)

所在地	〒589-0011 大阪府大阪狭山市半田1丁目3-3 メディカルスクエア金剛駅前 2F
電話	072-365-6666
ホームページ	https://haku-clinic.com
アクセス	南海高野線 金剛駅・西口徒歩約1分
駐車場	●共用駐車場【当院ビル北側・患者様用】 ●提携駐車場【金剛駅西第6駐車場】1時間の駐車サービス券をお渡しします。



※PL病院では登録医制度を設けています。2025年9月30日現在、272名が当院に登録されており、先生方と密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努力しています。

！ トピックス

応援
よろしくね！

PL病院公式キャラクターが決定しました！

プロフィール

- 名前：ココロン ●出身地：大阪府
- 誕生日：11月1日（PL病院創立記念日）
- チャームポイント：PL病院のロゴが入っていて地球に似ていること

ココロンの 想い

- ①地域の健康を支える「地球」のような存在になること
- ②子どもたちに病院は元気になる場所であることを知ってもらうこと



Q ココロンを探せ！

ココロンは2F総合受付にいくつ隠れているでしょうか？
正解された方の中から、抽選で図書カードをお贈りします！

応募 方法

官製ハガキに「答え、住所、氏名、年齢、本誌へのご意見・ご感想」をご記入の上、13ページの宛先へ郵送していただくか、玄関エントランスホールのご意見箱に入れてください。当選された方の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

締切

2026年 1月20日消印有効



前回の『 ぼんおどり 』（盆踊り）当選者の発表は記念品の発送をもって
正解は『 』でした。かえさせていただきます。